

2026 _ SPRING

令和 8 年春

小雨決行

観海閣お披露目セレモニー

❀❀❀ 会場 名勝和歌の浦・観海閣周辺

2026年 3月28日 (土)

* お問い合わせ

(紀の国はまゆう和歌公園管理事務所)

073- 446- 5553

第1部 和歌山県主催・公式行事

会場：和歌の浦アート・キューブ

(関係者のみ出席)

会場：観海閣

(ご見学いただけますが混雑状況により入場を

制限させていただく場合があります)

10:35 - 10:50 紀州雑賀鉄砲衆演武

鏡開き

第2部 紀の国はまゆう和歌公園管理事務所主催

会場：観海閣

11:15 - 11:35 和歌山雅楽会演奏

11:35 - 11:55 箏曲演奏

中西裕子と県立桐蔭高等学校箏曲部

11:55 - 12:15 玉津島短歌祭発表会

第3部 地域イベント

第1会場：玉津島神社境内 玉津島保存会主催

9:00 - 13:00 名勝和歌の浦桜まつり 玉津島神社餅つき大会

玉津島マーケット

第2会場：あしべ屋妹背別荘・奥座敷45畳 (詳細は裏面)

13:00 - 16:25 観海閣整備事業完了記念講演会：「観海閣」とは何か？

小さな特設カフェ きつねのしっぽ

講演会概要：

和歌山市の南部に位置し、和歌川の河口の干潟の景観を中心とした歴史的な景勝地、名勝和歌の浦の干潟にある小島・妹背山は、奠供山などの山々と同じく三波川変成帯の結晶片岩による島で、敵島、弁天島、イモ島などと呼ばれていたが、初代紀州藩主の徳川頼宣が江戸時代の初めに和歌の浦を徳川家の聖地として整備をした際に妹背山と呼ばれて三断橋が設けられ、徳川家康の三十三回忌に母・養珠院（お万の方）の発願で題目石（経石）を日本全国からここに集めた。

題目石の集積はのちに、三断橋の軸線の延長上に設けた石室に収められ、さらにその上部に養珠院を祀る多宝塔が建立されて、また同じ軸線上に海に張り出した観海閣も築造された。海路と陸路を考慮した頼宣の計画は、こうして江戸時代から明治大正期に至るまで妹背山を和歌の浦の中核に位置付ける周知な内容となったように思われる。周長僅か250メートルの小島に残された優れた建造物群は江戸時代初期の木造と石造の技術を十分に伝えているのであるが、現在は地元でも妹背山に込められた思いを知る人は少ない。

観海閣は江戸最末期に被災した折りに和歌の浦の民間の力で再建された歴史を持ち、現代の和歌の浦にも通じる記念碑的な建物であるものの、こういった内容も風化している。観海閣の整備はまた、意匠だけでなく、木造の伝統工法を用い、和歌山県内の工匠たちの手で復元的に整備され、大変に貴重な事業となった。

本講演会は、観海閣の歴史と地元との強い結びつき、そして再建された観海閣の計画とその技術に関し和歌山の内外でその価値を再認識することを目的とする。



2026_SPRING

あしべ屋妹背別荘と和歌の浦連続講演会

～被災応援御礼～

2019年の台風被災以来の皆様のご支援に心より御礼を申し上げます。お蔭様で一部を除き復旧し、本年より新たに妹背山の視点から和歌の浦を眺める愉しみを広く共有する連続講演会を企画します。今後ともどうぞよろしく
お願い申し上げます。

あしべ屋妹背別荘館主 西本直子

観海閣整備事業完了記念

第1回 「観海閣」とは何か？

＊ ＊ ＊ 会場 あしべ屋妹背別荘・奥座敷 和歌浦中 3-4-28 妹背山

日時 2026年 3月 28日 (土)

* 入場無料 先着順 約50名
お問合せ 090-5408-0845 (西本)



13:00 (開場 12:30)

オープニング

13:05 - 13:50

多井忠嗣 (和歌山県文化財センター文化財建造物課・観海閣新築計画担当者)

「名勝指定地内で新築すること：観海閣の復元考察と真実性」

13:55 - 14:40

佐藤顕 (和歌山県立博物館学芸員)

「観海閣を建てた徳川頼宣と養珠院 (お万の方)」

14:45 - 15:30

藤本清二郎 (和歌山大学名誉教授)

「頼宣が創建、和歌村が再建した妹背拝殿」

15:30 - 15:50 特設カフェ ＊出店チーズケーキ、きつねのしっぽ

15:50 - 16:20 座談会 「観海閣」とは何か？

16:25 クロージング



共催：紀の国はまゆう和歌公園管理事務所・名勝和歌の浦あしべ屋妹背別荘

後援：和歌山県・和歌山市

協力：多宝塔の経石を戻す会・和歌山市消防団和歌浦分団・わか応援隊・日方工務店・玉津島保存会・NPO 法人和歌の浦自然歴史文化支援機構・名勝和歌の浦クリーンアップ隊・和歌の浦ファンタスティコ・一級建築士事務所クロノス